

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第49期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社カーメイト

【英訳名】 CAR MATE MFG. CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 村田 隆 昭

【本店の所在の場所】 東京都豊島区长崎五丁目33番11号

【電話番号】 03-5926-1211(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 兼 専務執行役員 塩 沼 忠 志

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区长崎五丁目33番11号

【電話番号】 03-5926-1211(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 兼 専務執行役員 塩 沼 忠 志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第48期 第3四半期 連結累計期間	第49期 第3四半期 連結累計期間	第48期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	15,268,758	15,956,594	18,758,534
経常利益	(千円)	1,848,474	1,189,746	1,655,663
四半期(当期)純利益	(千円)	1,181,949	757,890	1,089,673
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,144,347	1,108,828	1,296,588
純資産額	(千円)	9,637,318	10,746,275	9,789,531
総資産額	(千円)	18,723,569	20,512,649	18,000,451
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	155.52	99.73	143.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	51.5	52.4	54.4

回次		第48期 第3四半期 連結会計期間	第49期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	103.03	91.57

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸入原材料の価格上昇などの懸念があるものの、金融緩和策などによる円安・株高傾向が続き、輸出企業を中心とした企業収益の改善や個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

このような状況下にあって、当社グループは引き続き、コスト削減などの効率化を推進する一方、新技術・新発想による安全・安心なモノづくり、新興国市場への積極的な展開などに努めてまいりました。また、介護関連事業につきましては有料老人ホーム4棟目の開業準備を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はLEDランプ、エンジンスターターは減少しましたが、運搬架台類、自転車関連商品等が好調に推移し15,956,594千円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

損益面につきましては、円安による原価率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により1,118,599千円の営業利益(前年同四半期比42.0%減)となり、経常利益は為替差益の計上があり1,189,746千円(前年同四半期比35.6%減)となりました。四半期純利益は法人税等を計上した結果757,890千円(前年同四半期比35.9%減)となりました。

当社グループの事業は、冬季製品(スキーキャリア・タイヤ滑止等)の占める割合が高いため、連結会計年度の第3四半期の売上高及び営業費用の割合が著しく高くなる傾向があり、また、冬季の降雪量の多寡により業績に影響を受けることがあります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 車関連事業

車関連事業につきましてはLEDランプ、エンジンスターターは減少しましたが、運搬架台類が好調に推移し、売上高は12,975,774千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。損益面につきましては、原価率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1,827,137千円(前年同四半期比21.2%減)となりました。

#### アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業

アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業につきましては、自転車関連商品が好調に推移し売上高は1,462,415千円(前年同四半期比13.0%増)となりました。損益面につきましては、原価率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は196,847千円(前年同四半期比23.2%減)となりました。

#### 介護関連事業

介護関連事業につきましては、売上高は1,518,404千円(前年同四半期比5.1%増)となり、損益面につきましては、有料老人ホーム4棟目の開業準備費用を計上したことなどにより、営業利益は4,444千円(前年同四半期比95.8%減)となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,681,484千円増加の15,309,890千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が961,984千円減少しましたが、受取手形及び売掛金が2,185,030千円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ830,713千円増加の5,202,758千円となりました。この主な要因は、投資有価証券が332,308千円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ2,512,197千円増加の20,512,649千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,248,879千円増加の5,899,593千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1,022,565千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ306,574千円増加の3,866,781千円となりました。この主な要因は、その他の固定負債が195,866千円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,555,453千円増加の9,766,374千円となりました。

なお、有利子負債残高は105,076千円増加の2,120,476千円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ956,744千円増加の10,746,275千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が605,895千円増加したことによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は989,291千円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,933,400
計	19,933,400

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,928,885	7,928,885	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 100株であります。
計	7,928,885	7,928,885		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月31日		7,928,885		1,637,706		2,422,246

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 329,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式7,595,200	75,952	
単元未満株式	普通株式 4,485		単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,928,885		
総株主の議決権		75,952	

- (注) 1 単元未満株式には、自己保有の単元未満株式が20株含まれております。  
2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カーメイト	東京都豊島区長崎五丁目 33番11号	329,200		329,200	4.15
計		329,200		329,200	4.15

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,574,060	5,612,076
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 2,714,435	<sup>1</sup> 4,899,466
有価証券	1,062,633	1,062,976
製品	2,018,687	2,240,653
仕掛品	167,787	209,457
原材料及び貯蔵品	304,315	350,888
その他	805,565	963,494
貸倒引当金	19,078	29,121
流動資産合計	13,628,406	15,309,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	913,725	897,275
機械装置及び運搬具(純額)	201,325	238,896
工具、器具及び備品(純額)	247,607	369,978
土地	483,470	483,470
有形固定資産合計	1,846,129	1,989,622
無形固定資産	184,439	197,082
投資その他の資産		
投資有価証券	790,062	1,122,371
長期貸付金	451,311	676,964
その他	1,100,101	1,216,718
投資その他の資産合計	2,341,475	3,016,053
固定資産合計	4,372,044	5,202,758
資産合計	18,000,451	20,512,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,735,777	2,758,343
短期借入金	336,000	336,000
1年内返済予定の長期借入金	158,360	164,996
1年内償還予定の社債	368,600	430,850
未払法人税等	371,977	181,170
賞与引当金	358,034	182,793
返品調整引当金	268,000	542,800
その他	1,053,963	1,302,639
流動負債合計	4,650,713	5,899,593
固定負債		
社債	710,600	768,625
長期借入金	441,840	420,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
退職給付引当金	1,209,318	1,248,316
役員退職慰労引当金	642,935	678,455
その他	555,512	751,378
固定負債合計	3,560,207	3,866,781
負債合計	8,210,920	9,766,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,637,706	1,637,706
資本剰余金	2,422,246	2,422,246
利益剰余金	5,790,661	6,396,557
自己株式	183,281	183,370
株主資本合計	9,667,332	10,273,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264,847	354,584
土地再評価差額金	196,648	196,648
為替換算調整勘定	53,999	315,200
その他の包括利益累計額合計	122,198	473,136
純資産合計	9,789,531	10,746,275
負債純資産合計	18,000,451	20,512,649

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	<sup>1</sup> 15,268,758	<sup>1</sup> 15,956,594
売上原価	<sup>1</sup> 9,398,023	<sup>1</sup> 10,500,162
売上総利益	5,870,734	5,456,432
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 3,942,455	<sup>1</sup> 4,337,832
営業利益	1,928,278	1,118,599
営業外収益		
受取利息	21,873	33,838
受取配当金	18,076	21,298
為替差益	-	109,241
補助金収入	5,728	-
その他	7,968	11,497
営業外収益合計	53,647	175,876
営業外費用		
支払利息	24,870	15,383
売上割引	52,660	53,223
為替差損	2,104	-
支払手数料	32,807	29,350
その他	21,009	6,772
営業外費用合計	133,451	104,729
経常利益	1,848,474	1,189,746
特別利益		
固定資産売却益	395	1,985
特別利益合計	395	1,985
特別損失		
固定資産除却損	1,250	55
固定資産売却損	174	16
特別損失合計	1,424	72
税金等調整前四半期純利益	1,847,445	1,191,659
法人税、住民税及び事業税	771,874	491,526
過年度法人税等戻入額	30,000	-
法人税等調整額	76,377	57,757
法人税等合計	665,496	433,769
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181,949	757,890
四半期純利益	1,181,949	757,890

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181,949	757,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,989	89,736
為替換算調整勘定	13,612	261,201
その他の包括利益合計	37,601	350,937
四半期包括利益	1,144,347	1,108,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144,347	1,108,828
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
1	税金費用の計算 一部の子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	205,383千円	148,530千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1 当社グループの事業は、冬季製品（スキーキャリア・タイヤ滑止等）の占める割合が高いため、連結会計年度の第3四半期の売上高及び営業費用の割合が著しく高くなる傾向があり、また、冬季の降雪量の多寡により業績に影響を受けることがあります。	1 当社グループの事業は、冬季製品（スキーキャリア・タイヤ滑止等）の占める割合が高いため、連結会計年度の第3四半期の売上高及び営業費用の割合が著しく高くなる傾向があり、また、冬季の降雪量の多寡により業績に影響を受けることがあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	326,716千円	392,471千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	75,999	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	60,798	8	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	91,197	12	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	60,797	8	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	車関連事業	アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	介護関連事業	
売上高				
外部顧客への売上高	12,528,981	1,294,709	1,445,067	15,268,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	12,528,981	1,294,709	1,445,067	15,268,758
セグメント利益	2,317,868	256,347	104,650	2,678,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,678,866
全社費用(注)	750,587
四半期連結損益計算書の営業利益	1,928,278

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	車関連事業	アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	介護関連事業	
売上高				
外部顧客への売上高	12,975,774	1,462,415	1,518,404	15,956,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	12,975,774	1,462,415	1,518,404	15,956,594
セグメント利益	1,827,137	196,847	4,444	2,028,429

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,028,429
全社費用(注)	909,829
四半期連結損益計算書の営業利益	1,118,599

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	155.52円	99.73円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額	1,181,949千円	757,890千円
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益	1,181,949千円	757,890千円
普通株式の期中平均株式数	7,599千株	7,599千株

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第49期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)中間配当については、平成25年10月31日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	60,797千円
1株当たりの金額	8円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月9日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月14日

株式会社カーメイト  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 椎 名 弘 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 土 肥 真 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田 中 淳 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カーメイトの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カーメイト及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

